



高浜町の児童・生徒の 学力や生活習慣は？

【高浜町教育委員会】

●調査概要

- 調査実施日 令和4年4月19日（火）
- 実施人数 小学校6年生 78名／中学校3年生 67名
- 実施教科 【小学校】国語、算数、理科 【中学校】国語、数学、理科

※調査結果について 教科や出題範囲が限られていることから、本調査により測定できるのは、あくまでも学力の特定の一部分です。

教科に関する調査結果概要および傾向

【小学校】

- 小学校は、国語、算数、理科の調査を行いました。福井県は、三科目全て正答率が全国平均を上回っています。
本町においては、算数・理科の正答率は全国平均を上回っておりますが、国語は全国平均を下回っています。
また、三科目全て県平均を下回る結果となりました。

教科ごとの傾向

○…良好と考えられること △…課題と考えられること

国語

- 表現の効果を考えること
- 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること
- 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと
- △話し言葉と書き言葉との違いを理解すること
- △互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめること
- △人物像や物語の全体像を具体的に想像すること

算数

- 目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ること
- 図形を構成する要素に着目して長方形の意味や性質、構成の仕方について理解すること
- 示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断すること
- △示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述すること
- △示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察すること
- △正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述すること

理科

- 昆虫の体のつくりを理解していること
- 日光を直進することを理解していること

- 実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できること
- △提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができること
- △メスシリンダーという器具を理解していること
- △自然の事物・現象から得た情報を、他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できること

【中学校】

■中学校は、国語、数学、理科の調査を行いました。福井県は、三科目全て正答率が全国平均を上回っています。

本町においては、国語・理科は全国平均を上回り、数学は全国平均を下回りました。また、国語は県平均と同じ正解率で、数学・理科については県平均を下回る結果となりました。

教科ごとの傾向

○…良好と考えられること △…課題と考えられること

国語

- 論理の展開などに注意して聞くこと
- 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すこと
- 表現の技法について理解すること
- △自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと
- △行書の特徴を理解すること
- △漢字の行書や読みやすい書き方について理解すること
- △漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解すること

数学

- 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明すること
- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること
- △自然数を素数の積で表すこと
- △反例の意味を理解している
- △箱ひげ図から分布の特徴を読み取ること

理科

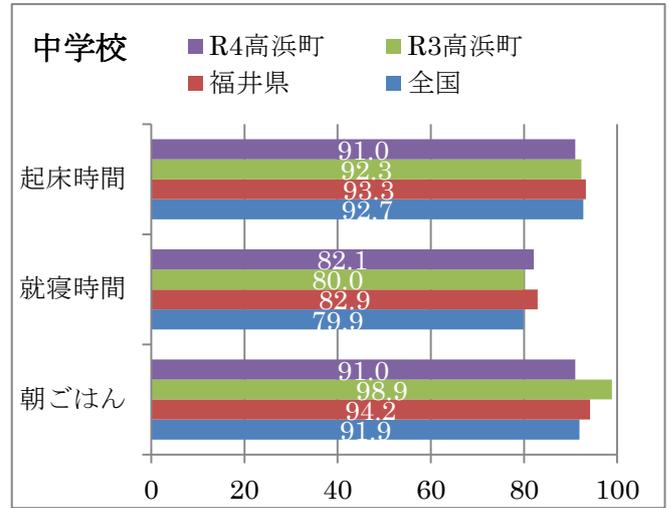
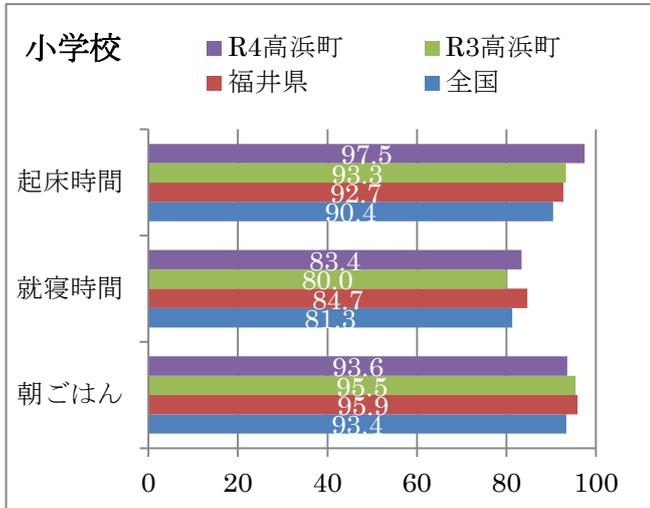
- モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画すること
- 節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を、生活場所や移動の仕方と関連付けて、体のつくりと動きを分析して解釈すること
- 予想や仮説と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、観察、実験の操作や条件の制御などの探究の方法について検討し、探究の過程の見通しをもつこと
- △力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明すること
- △課題に正対した考察を行うためのグラフを作成すること
- △過去の大地の変動について、垂直方向の移動だけで推論した他者の考察を、水平方向の移動も踏まえて、検討して改善すること

※令和3年度と比較しています。

生活習慣に関する調査結果

◆毎日同じ時間に起きている（起床時間） ◆毎日同じ時間に寝ている（就寝時間）

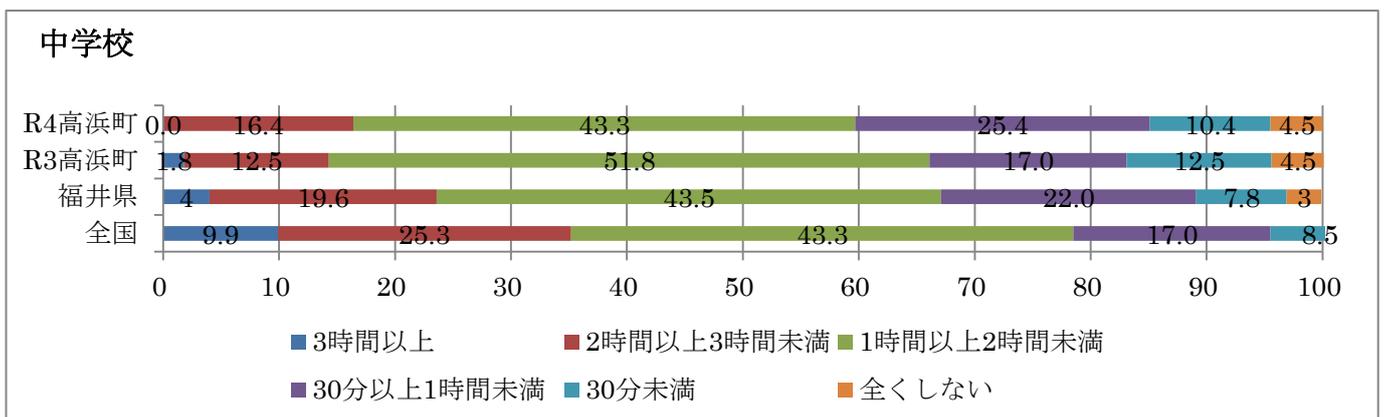
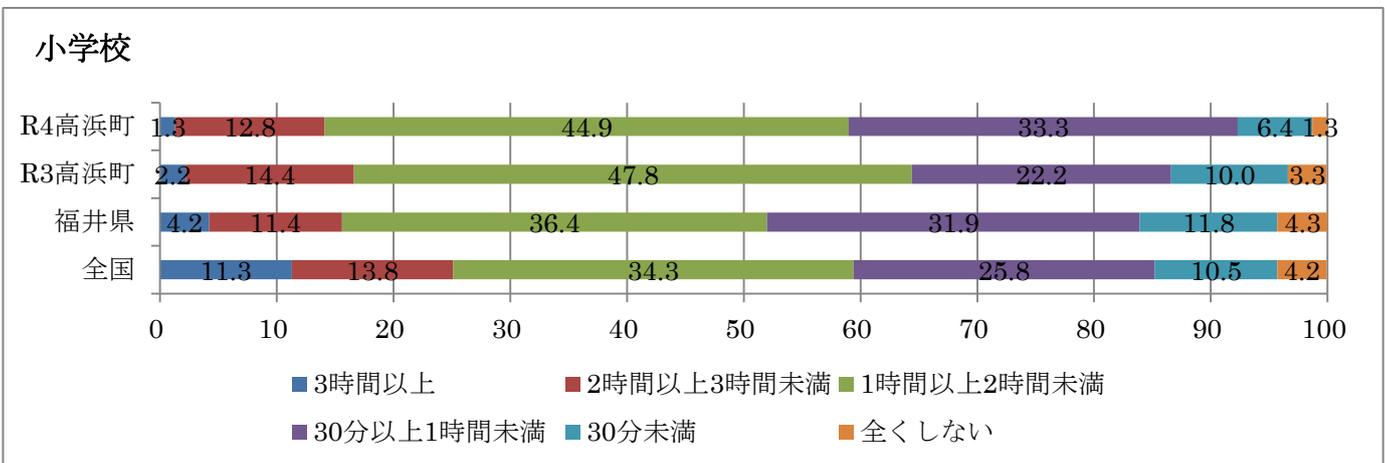
◆朝ごはんを毎日食べている 3項目について、「している」「どちらかというとしている」の合計値（単位：％）



○大半の児童生徒が毎日同じ時間に起床、就寝する、朝ごはんを食べる等の基礎的な生活習慣は身につけているといえます。

学習習慣に関する調査結果

◆学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらい勉強をしているか

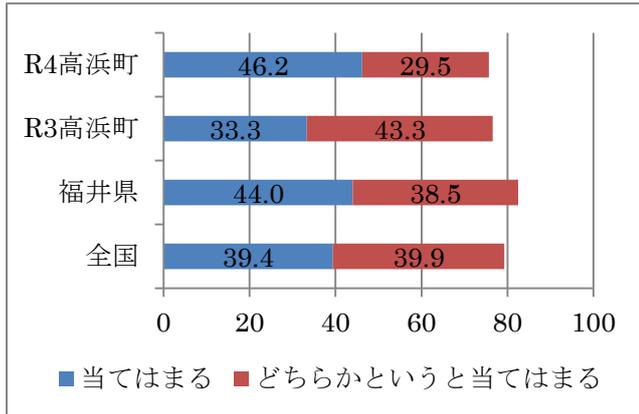


○勉強を全くしない児童生徒の割合について R3 年度と比較すると、小学校では減少し、中学校では、同じ割合である。また、全国・県平均に比べ学習時間が少ないことがわかります。

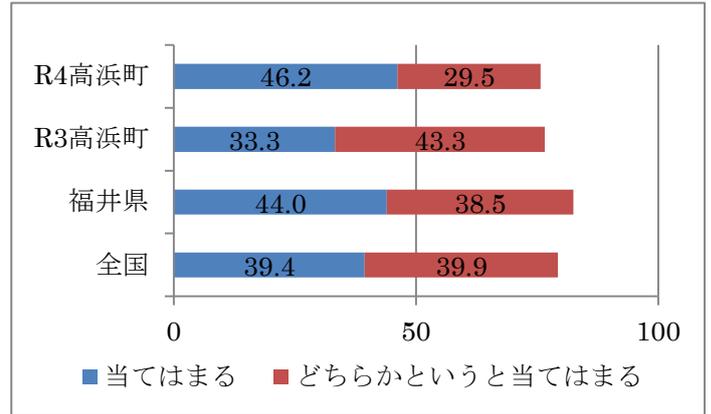
自己肯定感、将来の目標、いじめへの意識に関する調査結果

【自分にはよいところがあると思う】

小学校



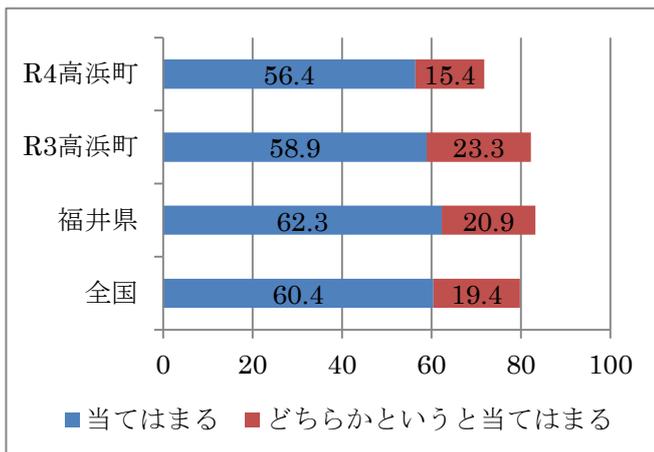
中学校



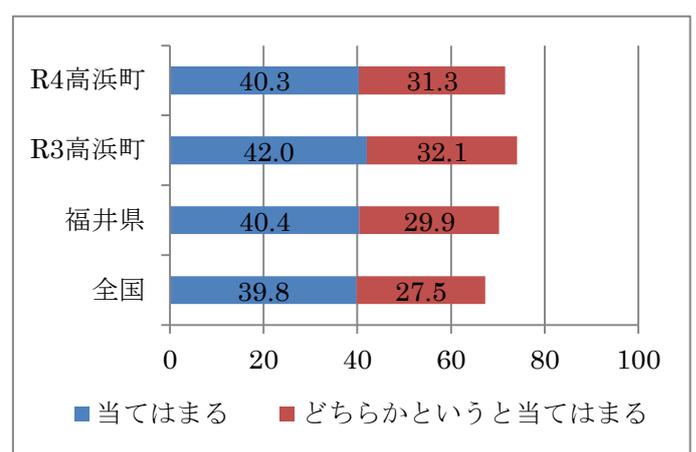
○小学校、中学校ともに「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合は全国・県平均を下回ります。しかし、中学校においてはR3年度と比較すると増えています。

【将来の夢や目標を持っている】

小学校



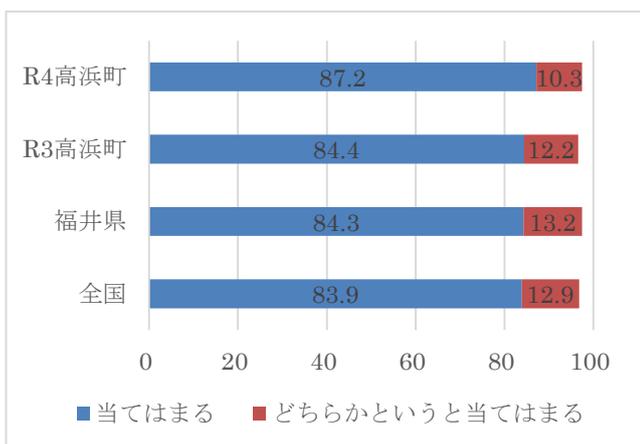
中学校



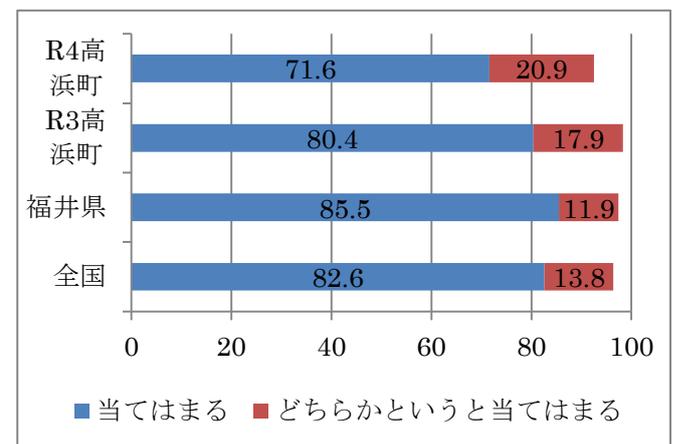
○小学校、中学校ともに7割以上の子どもたちが、「将来の夢や目標を持っている」と回答しています。しかし、小学校、中学校ともにR3年度と比較して割合が減少しています。

【いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う】

小学校



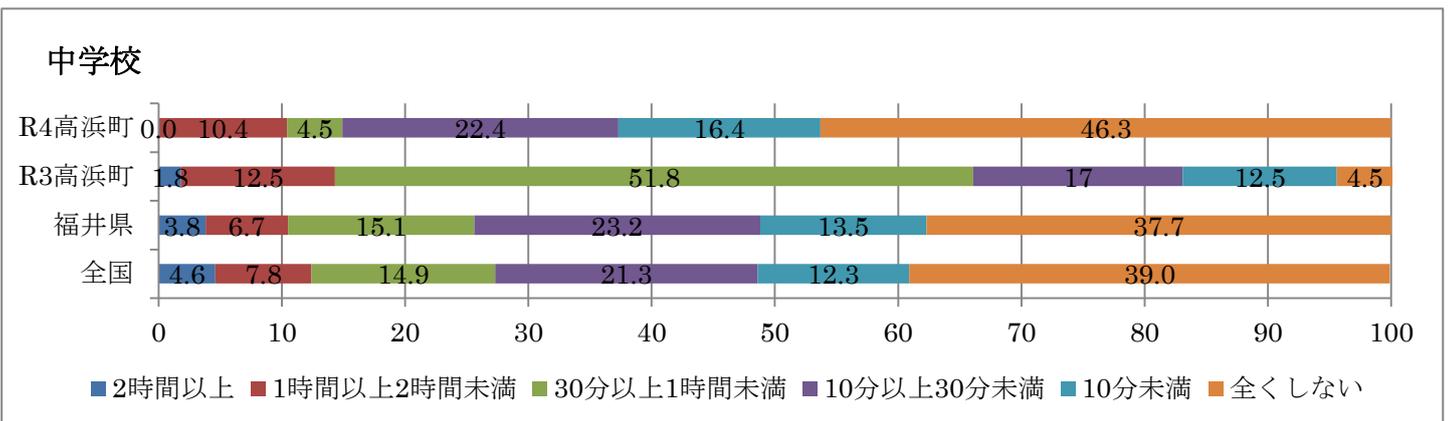
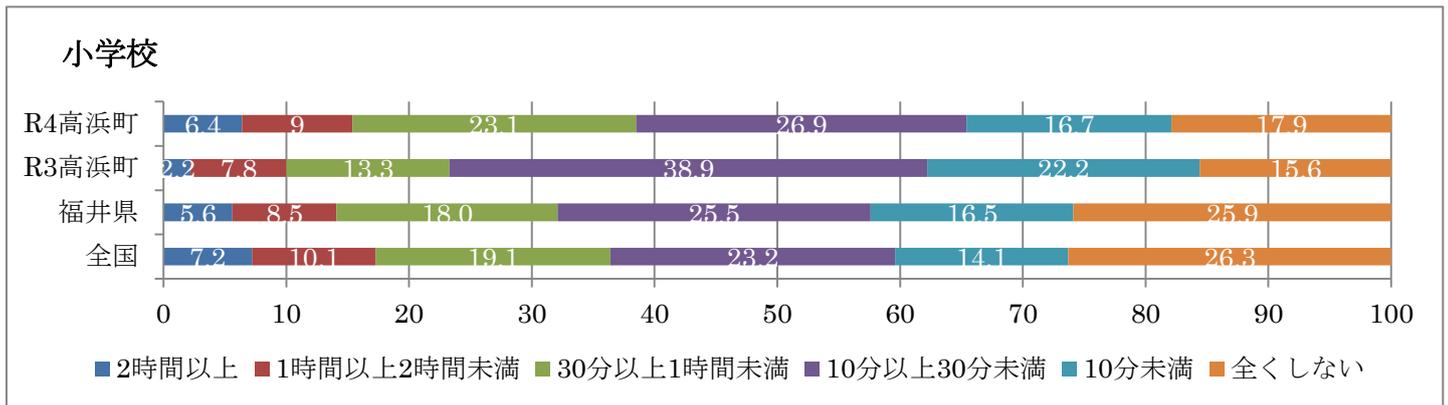
中学校



○ほぼ全ての児童生徒が「いじめはいけない」という意識を持っています。しかし、中学校においては、R3年度と比較すると、その割合は減少しています。

読書習慣に関する調査結果

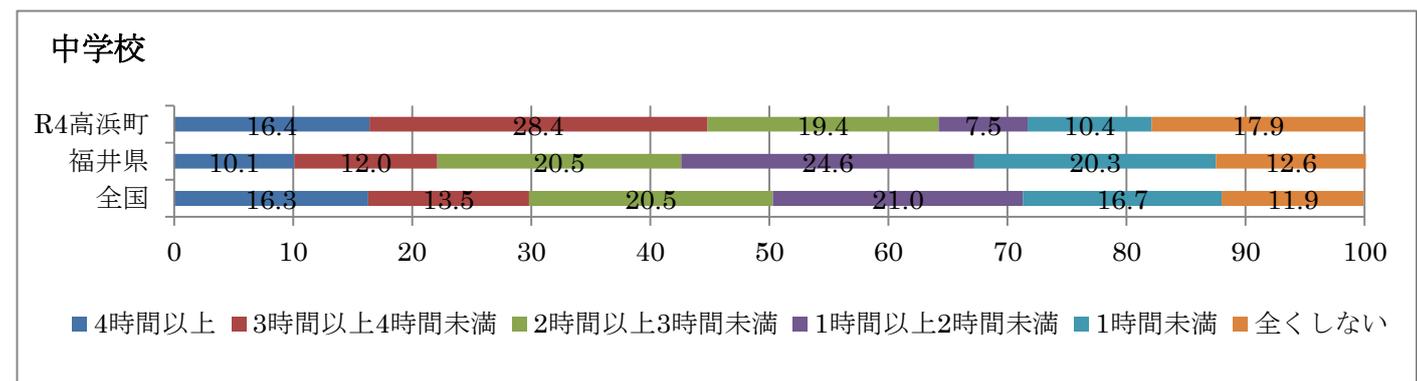
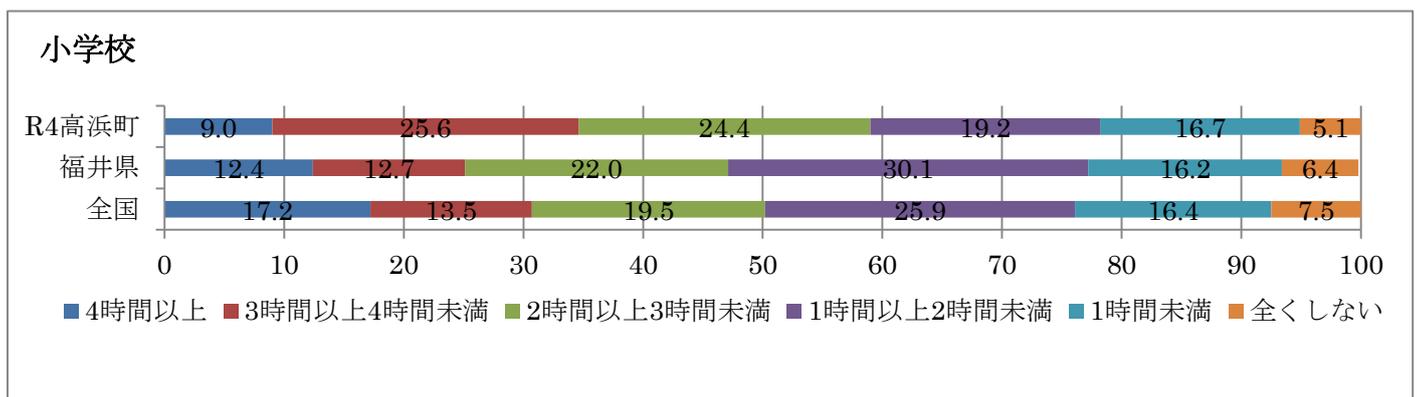
◆学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらい読書をしているか



○小学校においては、R3年度と同じく、全国・県平均より読書をする児童生徒の割合は長いですが、中学校においては、全国・県平均および前回調査時と比べると、読書時間が短くなっています。

ゲーム時間に関する調査結果

◆1日あたりどれくらいの時間テレビゲーム（PC、携帯やスマートフォン含む）をしているか

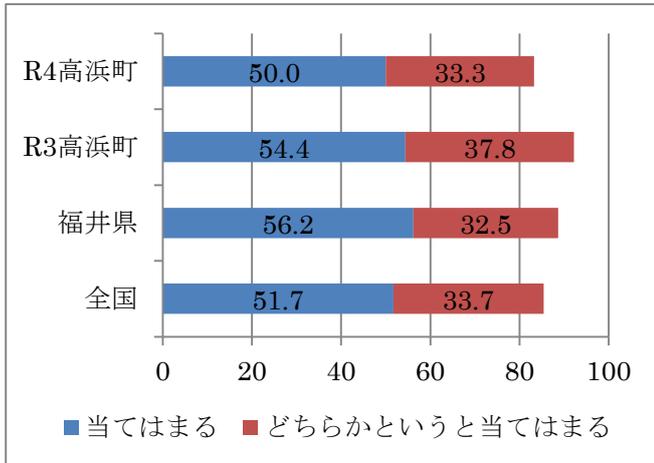


○小学校、中学校ともに、2時間以上の長時間テレビゲーム（PC、携帯やスマートフォン等）をしている割合が全国・県平均より多いです。

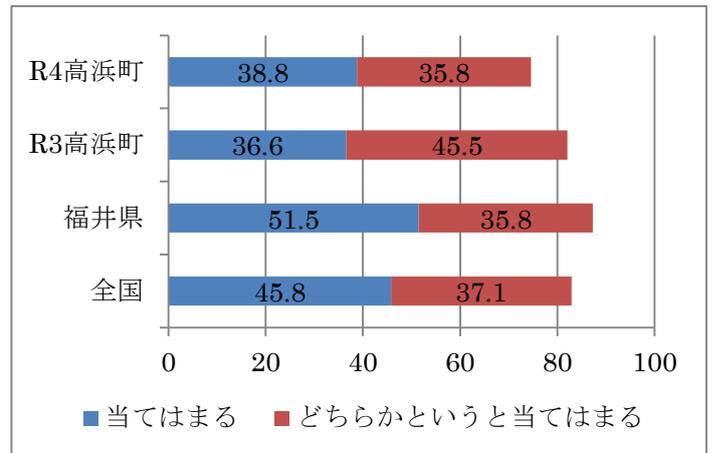
学校生活、地域との関わりに関する調査結果

【学校に行くのは楽しいと思うか】

小学校



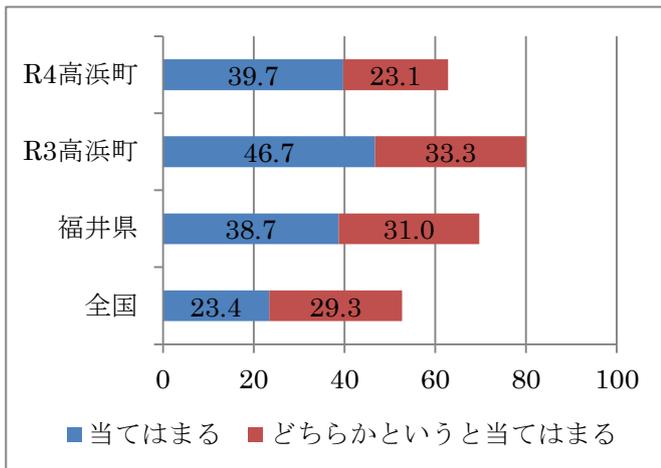
中学校



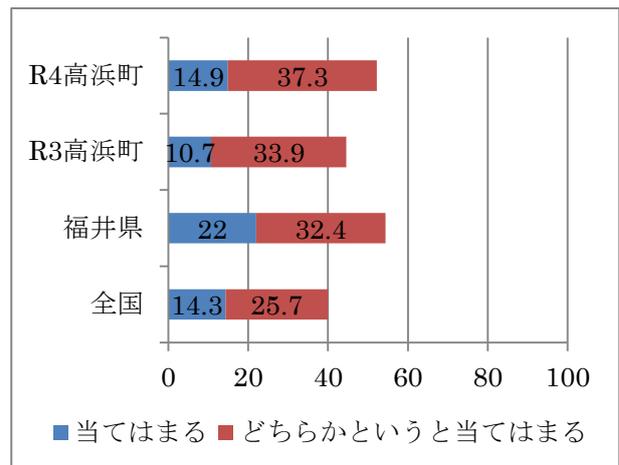
○小学校、中学校ともに、全国・県平均を下回り、なおかつR3年度と比較しても学校に行くのは楽しいと感じている児童が減少しています。

【地域の行事に参加しているか】

小学校



中学校



○小学校においては、R3年度と比較すると地域とのつながりが減少しています。中学校においては、R3年度と比較すると地域とのつながりが増加しています。全国・県平均、高浜町ともに、中学校になると数値は一気に減少し、小学校から中学校へ上がるにつれ地域とのつながりに対する意識の希薄さが表れています。

保護者のみなさまへ ~ ご協力をお願いします ~

- 「早寝早起き朝ごはん」の生活リズムが身に付くようにしましょう。
- 学校のできごとなど、子どもの話に耳を傾けて聞きましょう。
- 明日の予定などを話題にし、見通しをもって生活するよう意識づけましょう。
- 自分からすすんで勉強できる環境づくりをしましょう。
- 家族で読書を楽しむ工夫をしましょう。
- ゲームやテレビ、スマートフォンや携帯電話の使用ルールを決めましょう。
- 家族で地域の行事に積極的に参加しましょう。

正しい習慣を身につけ、自分の行動を自分で律する力をつけることが、学力向上につながります。

